

## 平成24年度 第43回千葉県中学校バスケットボール新人大会 総評

千葉県小中学校体育連盟主催、千葉日報社他後援の第43回千葉県中学校バスケットボール新人体育大会は11月4日（日）、10日（土）、11日（日）の3日間、木更津市民体育館をメイン会場とした3会場で行われた。

男子のベスト4には、シード校が敗れる激戦ブロックを勝ち上がってきた真砂中（千葉）、行田中（船橋）、習志野四中（習志野）。シードから順調に勝ち上がった習志野台中（船橋）が出そろい、準決勝は真砂中対行田中と、習志野台中対習志野四中の対戦カードとなった。スピードと1対1の強さを生かしたバスケットを展開した習志野台中と、シュート力のある選手を擁し、大接戦を制した真砂中が決勝に進んだ。

決勝戦は両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。習志野台中は⑤和田を中心に、一方、真砂中は④小林、⑤島田の1 on 1から流れをつかむ。習志野台中は速攻で一気にリードをねらうが、真砂中も⑥近藤のオフェンスリバウンド、ルーズボールなどで粘るバスケットを見せる。習志野台中リードで迎えた後半、一進一退の攻防が続く中、習志野台中8点リードで迎えた最終第4Q、習志野台中は⑤和田、⑦相川のドライブからのジャンプシュートで真砂中を突き放す。真砂中は2-3のゾーンで何とか相手のリズムを崩そうとするが、習志野台中は終始安定したプレーで得点を重ね追いつく真砂中を振り切る。最後までリズムを崩さなかった習志野台中が新人戦初優勝に輝いた。

一方女子のベスト4は、シードから順調に勝ち上がった昭和学院中（市川・浦安）、習志野七中（習志野）、七林中（船橋）に、シード校を破って勝ち上がった八木が谷中（船橋）を加えた顔ぶれ。準決勝は昭和学院中対八木が谷中と、習志野七中対七林中の対戦カードとなった。決勝には、県新人戦6連覇を狙う昭和学院中と、シュート力と巧みなディフェンスで他を圧倒してきた七林中が進出した。

決勝戦はお互いにハーフコートマンツーマンディフェンスからスタート。緊張からか両者ともいつものミドルシュートが決まらずに膠着状態が続く中、昭和学院中は④赤穂のインサイドシュート、リバウンドシュートで徐々に得点を重ねる。対する七林中は、④松本、⑤城内の思い切りのよいドライブを中心に攻め、2点差にまで詰め寄るも、昭和学院中の高さを生かしたバスケットを前になかなか逆転できない。後半は、七林中は得意の速攻を中心に速いバスケットで対抗するも、昭和学院中をとらえるに至らず、終始インサイド中心とした堅実なプレイをした昭和学院中が6年連続16回目の栄冠を手にした。敗れはしたものの、七林中の最後まであきらめず走り続ける姿勢には、拍手を送りたい。

新人大会ではあるが、昨年度から下級生ながら試合に出場していた選手の成長、活躍が見られる大会であった。また、速攻、シュート、ディフェンスの技術の高いチームが上位で活躍していた。春の選手権までの約6ヶ月の間に、選手達がどれだけ成長中するのかがとても楽しみである。

最後になりましたが、TO指導や会場準備など、開催地区である木更津・袖ヶ浦、君津・富津支部の役員の方、生徒の皆様、支部外からお手伝いいただいた先生方、バスケットボール関係者の皆様のご尽力により大会を無事終えることができました。心よりご協力に対し感謝いたします。

文責 県中体連バスケットボール専門部  
報道部 中村 圭吾（富里中）